

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371500352
事業所名	サポートハウスおおばり

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 「コロナだから…」を言い訳にせず、いかに地域との関係を保持するかを考えている。 中秋の名月の日、地域の伝統的な行事である「お月見どろぼう」では、100名を超える地域の子どもたちが立ち寄った。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 過去1年間の6回の運営推進会議は、半数の3回は対面開催ができたが、残り3回は書面開催となった。 対面開催時には、目標達成計画に対する報告・説明も行われている。 書面開催時には、会議メンバーであるいきいき支援センター（地域包括支援センター）の職員等から意見が届く。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 法人本部とホームが連携して行政に対応している。 コロナ禍により、区・保護係の生活保護受給者への訪問はなく、書面のやり取りになっている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 現時点では家族面会が全面的に禁止されており、家族の意見や要望は電話による聞き取りとなっている。 毎月発行の「サポート通信」に加え、ホームページのブログ欄を活用して家族に情報を提供している。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

【備考欄】

過去1年間の6回の運営推進会議は、半数の3回は対面開催ができたが、残り3回は書面開催となった。
---

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	◎	○								